

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人はるにれの里児童発達支援センターさんりんしゃ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 6日	～	令和8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日	～	令和8年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から保護者と丁寧に情報を共有し合い、こどもの健康や発達について共通理解を築けていること	連絡帳アプリを通した毎日のやりとりに加え、必要に応じて電話でも情報共有を行い、保護者のニーズをしっかりと伺いながら連携を深められるよう努めています。日々のコミュニケーションを通して、こどもの健康や発達の状況について保護者と共通理解を築き、安心して過ごせる環境づくりにつなげています。	今行っている取り組みを大切にしながら続けていけるよう努めています。また、職員一人ひとりがお子様やご家族の思いに寄り添った支援ができるよう、気づきを事業所内で共有していきける環境づくりを進めています。
2	お子様が好きなことや興味のあることを保護者に教えていただき、その要素を日々の支援に取り入れています。その結果、お子様が毎回楽しみに来所してくれていること	保護者にお話を伺いながら、支援の中にお子様の“好き”を取り入れるようにしています。好きなことをきっかけに、「やってみよう」「頑張ってみよう」という気持ちにつながる支援を心がけています。また、お子様が力を発揮しやすく、安心して取り組めるよう、わかりやすい環境づくりにも取り組んでいます。	継続して保護者からお子様の“好き”(興味関心)を伺い、支援に取り入れています。また、お子様自身が自己決定し取り組む場面も大切にしています。小さな成功体験を積み重ねられるよう工夫しつつ、発揮できる環境づくりにも努めています。
3	本人・家族・支援者のニーズから、支援計画を立案できていること	計画を立てる際には、まず家族のニーズを丁寧に伺い、その思いをもとに支援計画を作成しています。その前提として、日々の対話を大切にしながら、お子様の様子やご家庭の思いを共有できる関係づくりを心がけています。	ご家族のお話を丁寧に聞かせていただくことを大切に、安心してご利用いただけるよう、日々の関係づくりを大事にしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内の環境	保護者様から「暗めな印象」とご意見をいただきました。職員から「部屋の天井がすべてつながっているため、静かに過ごすことのできる部屋がない」という環境面の課題があります。	施設の古さや、特性上すぐに改善が難しい部分もありますが、環境づくりの工夫や代替手段を取り入れながら、より良い環境となるよう改善に努めてまいります。
2	地域児童との交流の機会	施設の広さにもう少し余裕があれば、他機関の児童を招いたり、地域の皆さんに活動を見ていただく機会もつくれると感じています。	地域の幼稚園・保育園・事業所のみなさんとは、顔が見える関係作りを行っています。その繋がりを通して、地域の幼稚園等の園庭に出かけて遊ぶなどの機会も検討したいと考えています。また、実習生や見学者の受け入れ、地域の会館や公園、ケーキ屋さんなどへの外出を通して、地域とのつながりをこれからも大切にしています。
3	全職員の子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加	体制面の限界もあり、様々な事業や連携を行っていますが、経験年数や担当業務によって、外部とのつながりでは職員間に差がある。	児童発達支援センターとして中核的機能を担っており、年間を通して開催される児童発達支援センター会議には、経験年数の若い職員にも交代で参加してもらおうよう進めています。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人はるにれの里児童発達支援センターさんりんしゃ

公表日 令和 8年 3月 27日

利用児童数

38名 (38家庭)

回収数 29

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	1			・参観日に行く大人も入るので狭くみえます。 ・小集団活動のスペースと集団活動のスペースそれぞれが確保されていてとてもいいと思う ・特性に配慮するなどの環境が整っていると感じます ・毎年レイアウトを替えながら、工夫してスペース作りをしている。	環境づくりについては、いただいたお声を踏まえ、配置や動線を見直していきます。お子さんが力を発揮できる環境づくりを、次年度も続けていきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1		3	・どのくらいの人数が対応しているのかわからない。	配置数についてのご意見ありがとうございます。年度初めに職員一覧をお渡ししていましたが、より分かりやすくお伝えできるよう、案内方法を見直していきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1		1	・お部屋のカードを使って、次にすることをわかりやすくしてくれている。	今後も、保護者の皆様にお話を伺いながら、お子様が安心して過ごせる場所となるよう取り組んでいきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	3	1	1	・癒めな印象 ・食事スペースや、トイレなどを見学したことがないのでわからない。 ・遊ぶ場所や、課題に集中すり場所など分かれていて良いと思う。	生活空間については、明るさや見学機会の工夫を進めつつ、空間の使い分けは今後も継続していきます。次年度も、お子さんが安心して過ごし、活動できる環境づくりを続けていきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28			1	・計画がいつも素晴らしいです。困り事を丁寧に反映させたプランを立ててくれます。 ・個人の特性に合わせて支援の教材やおもちゃを制作している印象です。 ・子どもとの関わりをしてくれる先生方を見る機会がほほえないが、見学の際に担当してくれた先生たちはとても丁寧であった。 ・職員の皆様とても親身に接してくださっていると感じます ・個々の好きなことや、伸ばしたい部分を考慮して、プログラムを組んでくれている。	今後ご家族の皆さんの想いを聴かせていただきながら支援を続けていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29					支援プログラムについてのご意見を踏まえ、今後も内容が伝わりやすいよう工夫していきます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28				1	・悩みをすごく反映してくれています。 ・客観的に詳細に記載されている印象です。こどものことを良くみてくださっている。 ・子どものことをよく見て、考えて作ってくださっているなど毎回感じます。 ・こどもの状態とヒアリングされたニーズ等が盛り込まれていると感じます ニーズを丁寧に聞き出し、計画を立ててもらっている。	今後ご家族の皆さんの想いを聴かせていただきながら、支援計画の作成に努めていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28				1		今後ご家族の皆さんの想いを聴かせていただきながら、支援計画の作成に努めていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1			1	・短い時間なので大変だと思います	限られた時間の中で、計画に沿った支援がより適切に行えるよう、今後も工夫して取り組んでいきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1			2	・子どもの興味・関心に合わせて、楽しく工夫している。	今後も、保護者の皆様にお話を伺いながら、お子様が安心して過ごせる場所となるよう取り組んでいきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	5	6	4	4	・スマイルデーなどを利用していほほのお子さんのきょうだいで遊ぶ機会があると思います。利用していないのでいいえを選択しました。 ・併用している保育園への情報共有がしっかりされており、園とデイ共に同じ対応をしてもらっていると思う	児童発達支援ガイドラインの項目に、地域での交流が掲げられてはおります。発達支援の内容として、お子様に無理のない形で考えていきたいと思っております。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29						今後も安心してご利用いただけるよう丁寧な説明を心がけてまいります。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28				1	・まだいただいていないため	半年に1回のモニタリング懇談を含め、保護者の皆様との協働に努めていきたいと思っております。アセスメント期間の場合、まだお子様個別の目標設定が難しく正式な書類をお渡しできていませんが、契約時の説明と活動の記録を通してどのような活動に取り組んだのかをお伝えし、お子様個別の目標設定につなげるようにしています。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28				1	・回数も多く、他の親御さんとの交流ができた ・勉強会も非常に身になっております。 ・なかなか個人では聞くことの出来ない、専門家や先輩お母さんのお話を聞くことが、たくさん出来たので、ありがたかった。	今後ご家族のニーズにお応えできるよう、家族支援プログラムや研修会等を取り組んでいきたいと思っております。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	28	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我の他、特殊な場合も(帰りの会を嫌がり参加出来ないなど)都度電話で連絡を頂いたので助かります。</li> <li>・送迎時やアプリなどを通し、情報共有の機会をいただけています。</li> <li>・とても丁寧にノートも書いていただいて、体調等も連絡が取れております。</li> <li>・コドモンの他、何かあったら電話をすぐにお話をくれるので、困り事から些細なエピソードまで共有できています。</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあったら、さんりんしゃの方に相談しようと思える頼もしい存在。</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29			<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方にたくさん共感して頂いています。</li> <li>・息子の言動に対して、プラスに受け止め、言語化して息子と応答していて、素敵だなと思います。</li> <li>・子ども保護者も、すぐくにかけてくれて、</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したことがないため</li> <li>・保護者学習会は、毎回すぐのためにしている。</li> <li>・兄弟が参加できる行事や機会はあると思うが、兄弟が大きいと忙しく、なかなか参加する機会がない。</li> </ul>	家族が参加できるプログラムをより良いものにできるよう、今後も検討し、計画していきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2			今後も安心してご利用いただけるよう丁寧な説明を心がけてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1			今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コドモンを使うことで、よりスピーディーで、幅広く発信がされていると思う。</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29				今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26		3		朝礼で防災・虐待・衛生マニュアルの読み合わせ、職員研修を通して嘔吐時の処理方法のシュミレーション、AED訓練等を行っています。保護者の皆様に安心していただけるよう、防災通信等を通して情報発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震時にテーブルの下に隠れるということを学び、自宅でも上手にやってみせてくれます。</li> <li>・避難訓練が日常的に行われています</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1			今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな怪我でもこまめに報告をくださいます</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29			<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいようで、行き渋りもほとんどなく通っています。</li> <li>・毎回とても楽しみにしています。</li> <li>・毎日楽しみに通所しています。</li> <li>・楽しみを持って、通っている。</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のデイサービスよりも楽しみに通っています</li> <li>・毎日帰宅後に楽しかった出来事を話してくれており心の拠り所になっているんだと感じる</li> <li>・前日に楽しみだなーと言っています</li> <li>・「今日は何する？」と楽しみにしている。</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも暖かな関わり、配慮ありがとうございます。</li> <li>・いつも本当にお世話になって、さんりんしゃのおかげで、子はもちろん親も成長できたと思う。</li> <li>・卒園しても、何かあったらさんりんしゃに聞いてみようと思う、心のお守りのような存在です。ありがとうございました。</li> </ul>	今後も安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人はるにれの里児童発達支援センターさんりんしゃ				
		公表日 令和 8年 3月 27日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・基準よりも余裕をもった定員数にしている	・個別対応児に対して、部屋の数が足りなくなることがある。 ・基準は満たしているものの、お子さんのクールダウンの場所として使用できる部屋が数か所あるとより良いと感じることがある。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・基準以上の人員配置をしている。 ・朝のミーティングなどで、スタッフ配置についての確認を行い、足りない部分についての動きの確認をしている。 ・人手が必要になった時には声をかけあうようにしている。	・規定上は問題ないが、個別対応児に対して職員の数が足りないと感じることがある。 ・欠席が出て不足している際は、協力して見守る意識をもって思う。 ・今後は、より室内のつくりや設定の玩具等の工夫で、複数のお子さんを安全に見守ることができると感じる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・可能な限りこどもが過ごしやすい職員みんなで考えている ・毎回、ある環境の中で、工夫を実施していると思う。 ・発達特性に応じて、教室内や空間の設定を行っている。活動内容によって、場所を柔軟に使っているため、その際に情報不足があるかもしれない。基本的に視覚的に伝えるように工夫している。	・部屋の天井がすべてつながっているため、静かに過ごすことのできる部屋がない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・夕方にみんなで掃除をしたり、定期的に普段していないところも行うようにしていると思う。 ・清潔を保つよう努めている	・食べこぼしが室内に残っていることがある。 ・整理整頓の部分は、今後もっと意識することで向上すると思う。 ・清潔は心がけている。空間もそこで過ごすお子さんの発達特性に合わせて設定している。 ・改善点としては、玩具が散らかりやすいので、片付けを意識できるようにし、怪我等の防止に努めたい。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・クラス間での協力は行っている。 ・必要に応じて、教室の設定を変えたり、個室を使えるようにしている。	・個別の部屋が増えると、バッティングの可能性が低くなる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・法人全体で職員個々の働き方を応援できるよう書式を用いて取り組みをしている ・必要に応じて、教室の設定を変えたり、個室を使えるようにしている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・参観後にアンケートを実施し、保護者に感想や要望を聞き取った。 ・いただいた意見を共有し、改善が必要な点については、職員全体で検討を行い、改善できるようにしている。研修などを行い、ご意見を反映できるように努めている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・職員会議や打ち合わせなどで意見を伝えあっていると思う。 ・クラス、チームごとのMTで意見を聞く機会も多くあると思う。	・意見等を把握する機会はあるが、業務改善につなげているかはわからない。 ・事務的な点、支援に関することなど、職員会議、クラスMT、ひまわり/ちゅーりっぷMT、非常勤MTなどを通じて意見を把握する機会を設けている。出た意見の中で、対応が必要なことについては、上長に報告し、クラスなどで検討、工夫に繋げるようにしている。取り組みの意味や意図を共有する機会や工夫が必要かなと感じて	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	・実習生を積極的に受け入れ、見学者などの目を多くあ		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・事業所内では、日々の支援に活かせる内容を設定しており、年間で計画を立てて行っている。実際のお子さんのケースを使うことで、より実践に近いものになるよう工夫をしている。	・改善点としては、今後パッケージとして研修できたらいいなと感じている。 ・年間の研修の型ができあがっていくといいなということと、外部講師などを招いたりすると、更によいかなとも思う。全体で行う研修では、外部講師の方も来られていて、事業所内だけでは得られない研修となっていると思うので、今後も継続していただけたら嬉しいと感じている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・ウェブ上に挙げることににより、多くの方に見ていただけるようになった ・実際のお子さんの姿から、翌月の活動の改善につなげている。	・保護者のニーズ、担当でのモニタリング会議、保護者面談など、ステップを踏んで作成されている。目標を設定したあと、紙ベースで共有しているが、各クラスでバラバラの共有方法で、誰が支援に入っても確認できるよう、共通した方法で共有できるように改善したい。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			・保護者ニーズは紙ベースで提出してもらっている。みんなが把握しやすいことや、実際に書いていただくことで、面談時にもお見せして話すときに出しやすいからです。文字に書いていただくことで、雰囲気も読めるので、私は書いていただくといいなとは思っているが、書くことの負担や経費、渡し忘れなどの観点から、コードモンのご案内も検討した方がいいのかなとは感じている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・毎回チームでモニタリング会議を通して意見交換できているのではないかなと思う。 ・毎月モニタリング日を設定している。クラススタッフと様子を共有し、また保護者のニーズも共有して、個別支援計画を作成するようにしている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・クラス内で共有できるように表にしたり、また個別課題の記録ファイルに目標を抜粋したものを入れて、確認できるようにしている。	・目標の達成度合いのすり合わせが課題かなと思う(ごまかなステップの共通理解)	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		フォーマル検査としては遠城寺発達検査を行っている。日々の中で、インフォーマルアセスメントは常に行うように意識している。	
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・具体的、かつ評価ができる内容にすること、また対応についても具体的に記載するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・クラス内での活動は、クラス担当間で行っている。 ・ひまわりについては、療育終了後に各クラスの代表者が集まり、翌日の内容について共有するようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・パートナーにもアイデアを募って協力いただいている。 ・日々内容を変えるなどの工夫をしている。	・改善として今年度は暑さ対策、熊対策、雪対策で外の活動があまりできず、その分施設内の活動の幅を広げていけるよう考えないといけないと感じる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個別で行う課題や、小集団での活動、遊びなどの場面を組み合わせで作るようになっている。お子さんに合わせて、内容、場面を設定しています。クラス内で、お子さん同士のグループが作れないときには、クラスを超えたメンバーでグループを作るように工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・朝のミーティングで確認するようにしている。また夕方にもMTを行い、翌日の動きを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・連絡帳やその日の様子を記録する時にクラスで集まって話すようにしている ひまわり、ちゅーりっぷが終了後に振り返りの時間を設定している。その日のこと、工夫した方が良い点、また良かった点について共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・記録の重要になるポイントを絞って効率よく記録する工夫はまだまだ可能かと思う。 ・今年度はコードモンに日々の様子を記録として残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・受給者証の発行に合わせて、6か月に1度のモニタリング、計画の見直しを行っています。新規のお子さんにはモニタリング期間を設定し、より適切な計画となるよう、計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児発管の他、担当スタッフも参加する機会に恵まれた年度だったかと思えます。 担当者会議は、担当スタッフ、またセンター長、課長、児発管が参加するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・必要に応じ連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・就園際には、就園先との引継ぎを行い、支援内容の共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (28～30は、センターのみ回答)	9		・就学の際には、就学先へ引継ぎを行うようにしている。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	9		・センター長、課長がセンター会議に参加しています。 また児童発達支援センター研修も行っていきます	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9		・外部講師を招き、研修を行っている。研修への参加についても適宜案内され、研修に参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9		・子ども部会へ積極的に参加している。子ども部会での研修も周知し、参加につながるような声かけを行っています。	・センターとしては参加しているが、参加できない職員も多い。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	・地域の公園での交流	・あまり一緒に活動する機会がないので、一緒に楽しめる活動を考えていけたら良いと思う。 ・地域の公園などで一緒に遊ぶこともあるが、偶然会う形なので、機会としては設定していない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・子どものうまくいかなかった点だけではなく、いいことも伝えるよう意識している。状況や内容に合わせて、保護者の意見を聞き、お互いにより方法を見つけれられるよう、コミュニケーションを大切にしている。	
保護者へ	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・ふれあいペアレントプログラム、保護者学習会、お母さん同士のトークデーなど企画している。	・お父さん同士のトークデーの希望もあったので、今後お父さんが主役になるような研修などもあるのかなと思う。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・ニーズのシートへの記載を依頼している。 ・ニーズ聞き取りを行い、書類として提出している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		・相談を行い、ご説明しています。その際、事前に読んでいただき、当日内容についてご意見をいただいているから、サインをもらうようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・相談があった際はもちろん、保護者とお会いした時に、日頃の様子を共有し、ご家庭での困りごとがないか伺うようにしています。内容によっては相談を設定し、ゆっくりお話しを伺うようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・保護者同士で交流する機会は設けている。 ・父母の会はないですが、ママさんトークデーというお母さん同士でお話できる会を設定しています。	・父母の会や保護者会、きょうだい同士で交流する機会等は開催していない。 ・兄弟同士での交流は設定できていない。

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談があった際は、センター長、課長と共有し、迅速に対応するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		・ひまわりでは週予定、ちゅーりっぷでは月間カレンダーなどを配布しています。また、さんりんしゃ通信を月に1回発行しています。行事の際は、その内容について発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・保護者の同意を得てから、他機関に情報提供しているかわからないことがある。 ・会議等で、個人情報が記載されているファイル、パソコンを事務所内から持ち出すときには、持ち出し簿に記載し、戻した後もサインするようにしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・お子さん、保護者が理解しやすい形態で伝えるようにしています。個々に合わせた伝え方を意識しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	・行事への招待はしていないが、行事は地域の会館を借りてすることが多く、地域住民の方に手伝ってもらったり、情報をいただいたり、協力してもらうことがある ・見学者や実習生の受入は行っています。	・事業所の行事に地域住民を招待することはしていない。 ・地域の方と行事で交流することはあまりないので、一緒に楽しめる行事を考えていけたら良いと思う。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・各委員会を設定し、マニュアルを都度更新しています。更新した内容は、スタッフ間で共有しています。内容によっては保護者にも周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・大きな声やサイレンが苦手な利用児に合わせて訓練することがある。実際に災害が発生した時は異なる流れになっていると予想される。 ・月に1度の避難訓練を行っています。また捜索、不審者、救命など、外部の講師(警察署、消防署)を招き研修を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		・契約時に確認をするようにしています。お子さんによっては、主治医に状況や対応の確認を行い、また法人内で看護部にもアドバイスをもらい、発作などの時に対応できるよう整えています。	・医療関係の職員が配置されていないので、症状と対応について詳しく知る必要があると感じる。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・医師による、アレルギー表の提出をお願いします。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・防災に関して、防災通信で周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・打ち合わせや書面に記録して共有しています。 ・夕方のミーティングで事故報告・ヒヤリハット報告について共有する時間を設定し、再発防止に努めています。また、事故の際は、速やかにセンター長、課長、児発管、各担当スタッフに報告し、保護者にも連絡を入れるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・研修の機会が設定されています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・どのような行動の時に行うのかなど、細かな部分を具体的に決めておけるように工夫したいです(対応マニュアルの統一など)。身体拘束を行わなければならない状況の時には複数人で相談するようにしています。		